

〔科目名〕 卒業研究	〔単位数〕 4単位	〔科目区分〕 卒業研究科目																					
〔担当者〕 大矢 奈美		〔授業の方法〕 演習																					
〔演習テーマ〕 社会保障制度や労働市場の将来像を描く ：就業形態の多様化への対応、障害者の社会参加、外国人労働者への社会保障関連の支援など、 社会保障・労働経済の分野に関する研究																							
〔演習内容〕 卒業論文執筆に向け、就業形態の多様化にそった社会保障制度のあり方、高齢者雇用問題、外国人労働者の確保問題など、現在の日本の課題をあらためて考え、その後、各自の当該領域に関する問題意識にしたがって、論文執筆の指導をおこなう。 第 1 段階として、各受講生の興味関心にもとづき、社会保険の抱える課題、ライフサイクルにおけるリスクとセーフティネット、日本人の働き方の問題、グローバル化にあわせた社会保障制度(外国人労働者および国外で働く日本人の社会保障)、少子化対策と労働市場政策といった、社会保障や労働経済の分野に関する文献リストの中から2つ程度選んで小レポートを作成する(提出は、5 月および 6 月。それぞれ1つずつ)。その過程で、卒業論文執筆にむけて各自の問題意識を探るとともに、必要な統計データや資料の収集・活用の方法、加工の仕方などを身につける。なお、演習の時間内においては、論文を書くための準備として、文章カトレーニング、研究論文の構造分析や要約の練習をする。 第 2 段階として、各自が問題意識を絞り込みながら、論文作成のための文献収集やデータの収集をおこなう。その上で、論文の構成を考える(9 月末までを目指す)。 最終段階として、10 月以降、論文執筆に取り掛かる。受講者数によるが、1 人あたり、月に2～3回程度、研究の進捗状況について報告する機会が得られるように分担を決め、添削をしながら進めていく予定である。																							
〔科目の到達目標〕 労働市場や社会保障制度に関する課題を見つける力、問題意識として表現する力を身につけ、問題意識に対する考察の手順、分析、結論までの研究の流れを理解し、実践できるようになること。																							
〔ディプロマ・ポリシー(DP)との関係〕 <table border="1" data-bbox="102 1568 1423 1713"> <thead> <tr> <th colspan="4">学部</th> <th colspan="3">学科</th> </tr> <tr> <th>DP1</th> <th>DP2</th> <th>DP3</th> <th>DP4</th> <th>DP1</th> <th>DP2</th> <th>DP3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>			学部				学科			DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3	○	○	○	○		○	○
学部				学科																			
DP1	DP2	DP3	DP4	DP1	DP2	DP3																	
○	○	○	○		○	○																	
〔前提条件〕 労働経済学、社会保障論を履修していること、あるいは履修すること。この問題について関心があること。																							
〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 演習への参加(就職試験等による欠席については事前に教員に相談すること)、発言の頻度や内容の適切さ、論文執筆のための問題意識の作成や資料収集、成果物である卒業論文の内容を評価する。 卒業論文に関しては、問題意識(あるいは仮説も)、問題意識に対する考察の手順や分析手法が適切であるかの他、文章力についても評価する。																							

【教科書等】

特に指定しない。

演習の中で提示される資料(論文など)

【実務経歴】

なし

授 業 スケ ジ ュ ー ル

時期	テーマと内容
4月～6 月上旬	社会保障や労働市場に関する新聞記事や論文等を参照し、ディスカッションをおこなう。 レポートの提出(2回)
6月中旬 ～7月	卒業論文で取り上げるテーマについての絞り込みと時事問題についてのディスカッション
夏休み	各自、設定したテーマに関する文献を読む
9月～10 月末	問題意識および論文の構成を固めるとともに、文献調査、実態調査を進める 論文の「はじめに」と目次を完成させる
11月～1 月上旬	論文の執筆と、途中経過の報告、指導